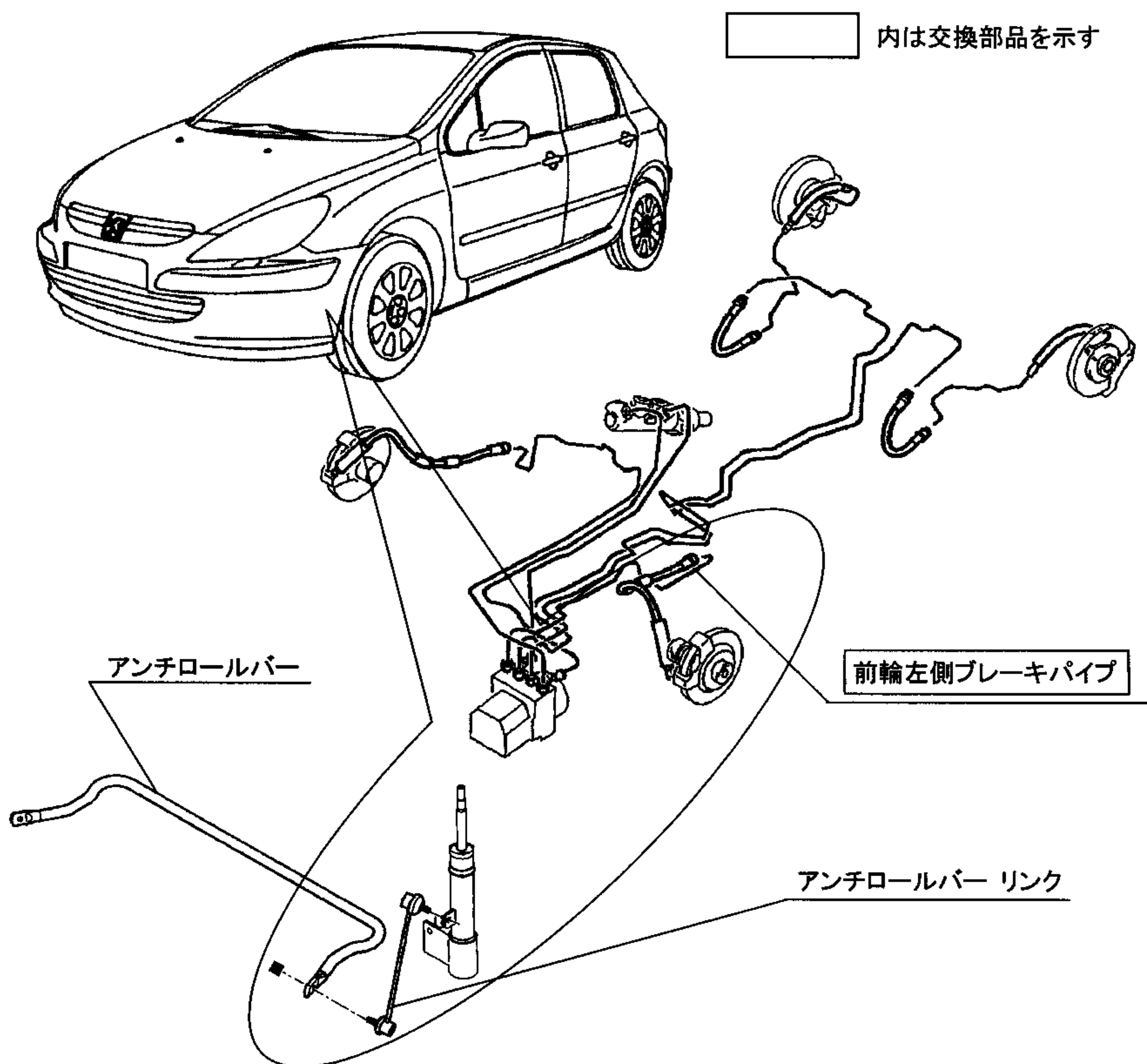


改善箇所説明図



不具合発生箇所

制動装置において、前輪左側のブレーキパイプの取り回しが不適切なものがあるため、左側に最大に舵を切った場合に当該パイプがアンチロールバーのリンク部と干渉するものがあり、そのままの状態で使用を続けると、当該パイプが破損して制動液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善内容

全車両、前輪左側ブレーキパイプを点検し、必要に応じて当該パイプの取り回しを修正するとともに、干渉痕のあるものは当該パイプを新品と交換する。

識別表示

当該ブレーキパイプに、黄色のペイントでマークを表示する。